

アフリカ・ラテンアメリカでのIT人材育成（令和4年度制度整備事業）

- IT人材獲得競争は世界的に激化しており、従来我が国へのIT人材の供給元となっていた中国やベトナム等のアジアでも人件費が高騰し、優秀な人材が獲得しづらくなってきている。こうした中、アジア以外の地域へも目を向け、IT人材を安定的に確保していくことが急務。
- 令和4年度委託調査事業において、これまで日本からの注目度が必ずしも高くなかったアフリカ及びラテンアメリカを対象に、コーディングテストを通じて、日本企業がIT開発を行うために即戦力となる現地人材を発掘するとともに、研修及びインターンで育成を行う。
- 加えて、両地域のIT人材のポテンシャルを明らかにするとともに、日本企業による事業対象地域への進出や現地日系企業のビジネス活動を円滑に行うための事業環境の整備を目指す。

開発途上国のIT人材育成を通じた事業環境整備事業 （令和4年度委託調査事業）

調査対象国

- ・ルワンダ、南アフリカ、ケニア、ナイジェリア、エジプト
- ・ブラジル、メキシコ

事業内容

- ①調査対象国におけるコーディング・コンテストの実施。
9月4日（日）を予定
- ②日本または第三国におけるインターン/受け入れ研修の実施
11月7日～12月16日を予定
- ③②をより効果的にするためのオンラインによる事前研修・事後研修
事前研修：10月～11月、事後研修：1月
- ④インターン/研修参加者への成果確認テストの実施
2月上旬を予定

